

(コーディネーター)

それでは、事業番号 4 番、追悼式典実施事業について作業を開始します。
内容につきまして、所管課の方から 5 分程度でご説明をお願いしたいと思います。

(説明者)

それでは追悼式典実施事業について 20 ページ概要説明シートに沿ってご説明します。
まず本事業の主旨についてですが、戦争で亡くなられた方々、及び本市の為に消防活動などで殉職された方々を敬う為、追悼式典という名称で年一回毎年市民会館大ホールで 10 月頃に開催しております。対象は市内在住・在職・在学の方で、枚方市遺族会・市議会・市の遺児者をはじめ、枚方市消防団・校区コミュニティ協議会・枚方市民生委員児童委員協議会等、市の関係団体の代表者の方々に毎年ご参列をいただいております。また、本事業は戦争や殉職者の遺族の方々を励ますとともに、平和の誓いを新たにすの意味も含め実施しておりますが、戦後 60 年余りが経過し遺族の高齢化が進み、戦災の実体験者の減少が顕著であることから、戦災に対する意識が風化しない様、普及啓発を推進する必要があると考えております。

次にこの事業にかかる経費ですが、平成 21 年度では従事職員が 0.6 人、人件費として 495 万 5,000 円、直接経費として 152 万 8,000 円、総事業費として 648 万 3,000 円です。平成 22 年度では従事職員 0.6 人、人件費として 481 万 9,000 円、直接経費として 115 万 5,000 円、総事業費として 597 万 4,000 円です。平成 21 年度の直接経費の内訳としましては、費用の大きいものから式典用の舞台及び献花用の菊などの諸経費が 104 万 1,000 円。次に市民会館舞台設置委託料として 44 万 4,000 円、次に参列者への記念品として粗品が 4 万 3,000 円、計 152 万 8,000 円です。

次に説明シートの裏面となりますが、活動実績は参列者数の推移を記載させていただいております。平成 20 年度では 388 人、平成 21 年度では 393 人、平成 22 年度では前年度の約 10%の増員に向け、呼びかけを行っていく予定です。単位当たりのコストでは平成 20 年度では 1 万 5,000 円、平成 21 年度では 1 万 6,000 円、平成 22 年度では 1 万 4,000 円になる様、取り組んでいきたいと考えております。目標とする成果についてですが、冒頭、ご説明しました様に本事業は遺族の方々に慰めるとともに、恒久平和の理念を継承していくことが重要と考えますので、遺族の参加を促すとともに平和の尊さを次世代に伝えるため、参列する市民団体等の範囲を拡大する方向で進めており、先ほど申し上げましたように、平成 22 年度では前年度の 10%程度の増員を目標に追悼式の充実を図ってまいります。自己評価としましては、遺族の高齢化に伴い、参列者が年々減少してきているものの、こういった性格の事業につきましては、公的責任の観点から直営が望ましいものと考えております。

次に最後の方向性ですが、本市の非核平和都市の理念に基づき、より多くの市民の方が参列いただけるよう、招待者の範囲の拡大を行うなど式典の充実に努めて参りたいと

考えております。

最後になりますが、比較参考値としまして北河内各市の実施状況について資料の 23 ページに記載させていただいております。各市、年一回直営により実施しております、事業費及び参加人数を記載しておりますので、併せてご参照お願い致します。

以上簡単ですが追悼式典実施事業のご説明とさせていただきます。

(コーディネーター)

ありがとうございました。

それでは、私の方から確認を何点かしたいと思います。そもそもこの事業の仕分けの対象として上がってきたということは、所管課それなりに何か問題点を感じていたということだと思いますので、どんな問題点を感じていてここに出されたのか説明していただけますか。

(説明者)

一番の大きなところなんですけど、説明の中でもあったように、年々遺族会の方々の参列者が少なくなってくるというところで、実質かかる直接経費などが、これまでも横ばいできております。事業のあり方も他市も現在考えなければいけないときに来ているのかなということもありまして、今回ちょっとお願いしたわけです。

(コーディネーター)

先ほどもちょっと平和の関連事業があった訳ですが、この事業との関連とかもあると思うんですが、その中で追悼式典に出るのは招待者しか出ないんですか。

(説明者)

いいえ、こちらから招待させていただいた方以外に、一般の方でも参列していただくことは可能です。

(コーディネーター)

広く一般市民も追悼式典に参加することは可能だということですね。

(説明者)

そのとおりです。

(コーディネーター)

参列者を 10%増員することで、式典の充実を図るとありますけど、何が充実するんでしょうか。

(説明者)

この事業の本旨なんですが、戦争であるとか殉職された方々の遺族の気持ちを慰めるというのが本旨なわけなんですが、これと併せまして平和への願いということもありまして、そういった趣旨も含めて参加される方々を増やすことで広く波及、啓発活動につながれたらなというふうな。

(コーディネーター)

平和思想の普及活動などが充実しますということでしょうか。

(説明者)

はい。

(コーディネーター)

ではそのような事業ですので、それでは、ご質問の方はお願いしたいと思います。

(仕分け人)

事業説明シートの事業内容で、枚方市民会館大ホールにて、とあるんですが、この大ホールをホームページで拝見しますと、1階が1,000人、2階が200人で1,448名の座席がある。それに対して参加者数が1割増としても430という極めて閑散とした感じになってしまうんですけど、ラポールは市が直営でやっていますのでおそらく無料でということですが、観察的に考えればそれで潜在的なコストにかかっているかと思っております。会場選定の適切でという点で何かお考えはございますか。

(説明者)

現時点では具体的な候補場所というのが頭にございませんが、例えば今おっしゃられた様に参列者の人数にあった会場というものは、確かに考えていく必要が十分にあるというふうに思っております。

(仕分け人)

単位当たりコストが総事業費を参加者数で割ると、1人当たり1万5,000円とか1万6,000円とか。これに加えて景品がまた出るということで、尊い犠牲があったということがある訳ですが、毎年のものでありますし、その辺はもう少し工夫の余地はありませんでしょうか。お金の換算して議論してはいけない気が自分なりにあるんですけど、他市と比較したりしたときに記念品が出てるのか出ていないのかを含めて、何か見直しの余地はあるかなとは思っています。

(説明者)

他市の状況なんです、確かに記念品を廃止されている市もあると聞いております。ただ、大半はまだ記念品を出しているというふうにも実情がございまして、質問されていないんですが、こちらからお話させていただきますと記念品 1 つ当たり枚方市は 80 円相当になります。

(仕分け人)

この追悼式典は私も必要だと思います。毎年されている中で遺族の方もだんだん高齢者が増えてきていると思います。その中で 1,400 人入る会場に 390 名というのはこれは 600 万の費用をかけて、ちょっともったいないなと思いますし、もっとご参加をしていただかないと駄目だと思います。この会場にこだわらず、もうちょっとお年寄りの方が参加できるような場を持たなければいけないと思います。この大ホールも今お年寄りの方が階段を上って、またトイレに行かれるのもかなりきつい階段ということで、昔の代表である。今はやっぱりバリアフリーにして、そういうところの会場を使っていかないと人は増えないなと思います。この大ホールは階段もきつい、下まで行きますとお年寄りの方にはそうとう危ないと思います。そんな中で例えば市民会館のところでも皆が参加できる、そういう会場を選んでやられていくのはいいんじゃないかと思います。大ホールがバリアフリーに出来るのであれば、いいと思います。かなりお金もかかりますが。古い大ホールでしたら、お年寄りや遺族の方も年をとっておられますので、出来たらバリアフリーの会場を考えて今後やっていただければなと思います。

(説明者)

ご指摘いただいた通り私も同感な部分がございます、市民会館大ホールにつきましては昭和 45 年に開設されました。すでに 40 年経っております、かなり老朽化も進んでいる。またこういった点からバリアフリーの観点からご指摘をいただいたように、高齢者の方々にも大変ご不便をおかけしている点もあるかと思っております。また、追悼式につきましては、遺族の高齢化が進みまして年々参加者も減少している。追悼式の事業自身の本旨を踏まえまして、戦没者とか殉職者に対する供養に他市遺族への十分配慮していくという質もございますので、追悼式の本旨を尊重しながらエレベーターの設置のある高齢者の方にやさしい開催場所であるとか、式典自体もコンパクトにしていくということ、将来的なこういったあり方について、また、全遺族会の方々の声も聞いていく必要もございまして、また近隣自治体の開催方法など色々な方法を参考にしていく時期が、そういった時期にさしかかってきているのではないかなと思っております。

(仕分け人)

今の近隣自治体との比較の話が出たのでお尋ねするんですが、23 ページの 6 の他市の状況というところを見ていただくと、6 つ自治体を書いてあるんですけど、どちらも多いところで 54 万円。自治体の規模とか参加される人数も違うので一概には言えないと思うんですが、直接の事業費だけを見ても一番大きいところと倍以上違うと、これはどういったことでこれだけ費用の差が出てくるんでしょうか。

(説明者)

この表のもう一つの見方で、数字の方を書かしていただいていたんですが、まさしく直接経費としての事業費を各市書かせていただきます。参加人数を単位当たりで割った場合に、大体守口市であると 3,500 円程度、同じく門真市も 3,500 円、大東市は 8,740 円、寝屋川市は 2,700 円程度、交野市は 2,600 円、四条畷市は 1,756 円、枚方市では 3,800 円と若干平均的とは言えませんが、ただ 21 年度につきましては、台風が急にきまして、2 倍とは言えないんですが若干経費がかかったため 3,888 円という数字が出ておりますが、19 年、20 年の例年になりますと 2,500 円前後となっております。ということで他市とさほど変わりません。

(仕分け人)

お金の面ですが、諸経費 20 ページの事業費の主な状況を拝見しますと、一番かかっているのが式典用舞台菊及び献花菊なんですね。1 人当たり 3,500 円ってときに、献花菊は一人ひとり献花したとして、そんなに高いはずがない。そうなるとう舞台用菊がかなり高いんだろう。その辺、ハコも大きいのでそれ相応の菊を装いとしてやらなきゃいけない。そういう構造なんじゃないんでしょうか。

(説明者)

舞台に飾っている菊なんですが、献花用の菊は献花用の菊で用意させていただいていきます。舞台用の菊は追悼式が終わりましたらすべて撤収しまして、4 本ないし 5 本とか 3 本であるとか紙に包みまして、遺族の方々にお持ち帰りいただきまして、また供えていただきます。それは結構喜ばれておりましてすべてはけているという状況です。

(仕分け人)

もう議論しなくてもいいんじゃないでしょうか。この予算規模で、しかも事業仕分けというのはそもそも事業の必要性について議論するところから始めるんですけど、どう考えても追悼式は止めようという意見は言える訳がありませんから、正直言ってこの事業は事業仕分けの案件に選ばれていることに私は強く抗議するというか、怒りを覚えます。もっとやるべき事業仕分け、やるべき政策たくさんあると思います。例えば、さっきいただいたひらかたを読むと、友好都市サミットを沖縄でやりました。こういう事業

こそメスを入れなくてはいけないときに、どう考えても追悼式というのは、市の責任に於いて絶対に続けなくてはいけない事業、しかも予算規模がわずか数百万、ほんの会場費とか入れて 100 万くらいの案件を、重箱の隅をつつくように議論するのが事業仕分けの本来の趣旨ではないと思います。もう早めに打ち切って昼休みにした方が私はいいいと思います。

(コーディネーター)

ご意見あればうかがっていきますが。

(仕分け人)

同じような意見なんですが、運用の仕方としまして、ハコが大きいということ为先ほどこからおっしゃられています、例えば、二部構成にするとかそういったことも考えられたらどうかと思います。

(コーディネーター)

ありがとうございます。

それでは意見も出尽くしたということで評価シートの記入をお願いします。

まあやなくていい、不要だという意見があれば 1 番の不要ということになります。民間で行うべき、市が行うべきじゃなくて民間に任せたらどうかという場合は 2 番。2 番のは、もっと広域で行ったらどうか。規模の見直しということであれば要改善ということで 3 番要改善。現状どおりであれば 4 番になります。それぞれ記入おねがいします。

では、事業番号 4 番、追悼式典実施事業について、決をとります。

1 番不要 (0 人)。2 番 民間 (0 人)。2 番 国・府・広域 (0 人)。3 番枚方市・要改善 (4 人)。4 番枚方市・現行通 (2 人)。ということで班の結論としては、枚方市・要改善ということになります。それではご意見をどうぞ。

(仕分け人)

私もまったく同感なんですが、このような追悼式典というのは、なかなか止めるべきとかそういうふうなことをなかなか言いづらいような話だと思いますし、ただ、みなさん遺族の方たちがこういうふうにその市で開催されるということで、年に 1 回その日に考えてもらえてるということで、喜ばれてるということであれば、これを続けていかれるべきだと思いますし、ただ皆さんご高齢の方が多くなってきていることで、皆さん参加しやすいような会場選定だとか、後は戦没者の方対象ということであれば先ほどもありましたけど、平和の事業と併せたそういうようなところで一緒にやるとかというような工夫の余地もあるのかなと思いました。

(仕分け人)

私も今までにいくつも事業仕分け自治体の出てきましたけれど、事務方は必ず当たり前障りのない事業を出来るだけ選ぼうと努力するんですけど、これ以上当たり障りのない事業をこれまで見たことがありません。はっきりいって本当に改革にとりくむ意思があるのであれば、こういう案件は入れるべきではないと思います。強く抗議したいと思います。

(コーディネーター)

ありがとうございます。

班の結論といたしましては、3番の枚方市・要改善ということになりましたけども、私がそもそも最初に質問しましたのもそういう意味でありまして、どんな問題意識があってこの事業仕分けにあがったのかと。そこが一番疑問だったわけですね。その辺も踏まえて事業規模の見直しも含め、事業のあり方全体を少し見直していただくべきではないかなと思います。

それでは事業番号4番、追悼式典実施事業についてはこれをもって終了したいと思います。どうもありがとうございました。